

1	言葉	言葉の力をつけよう（音読1年①） 「古典落語「寿限無（じゅげむ）」
名	前	
		解説

★寿限無とはどういう話か知っていますか。

生まれた子どもにおめでたい名前を付けようとした親が、和尚さんからおめでたい言葉を全部並べて、子どもの名前にしてしまいます。子どもはすすく育って、友達もこの長い名前を呼ぶようになります。ある日、ケンカをして殴られてコブができた子どもが、親のところへ言いつけに来るのですが、この長い名前をやり取りしているうちに、親が見たときにはコブが引っ込んでしまったという笑い話です。

す。こちらの方も声に出して音読してみしましょう。

寿限無

人の名前といいますものは、それぞれ、親の思いがこめられておりまして、いざ、つけるときになりますと、それはいろいろなことを考えるものでして。

ある男の家に、子どもが生まれました。生まれた子どもに縁起のよい名前を付けようと思い、和尚さんに相談します。

「こんにちは。実は、男の子が生まれまして、名前をつけていたきたくて・・・。」

「おお、それはおめでとうございます。なんと、わしに名付け親になってくれと。それは、うれしい。で、どんな名前がよいですかな。」

「とにかく、めでたい名前にしていただきたくて・・・。」

「そうですね。では、寿命限りなしという意味で寿限無はどうじゃな。」

「へえ、それは、いい名前ですね。他にはないですか。」

「五劫の擦り切れというのは、どうじゃな。」

「すり切れちゃつたらよくないような気がします・・・。」

「三千年に一度、天女がまい下りて、はごろもで岩をこする。この岩がすり切れてなくなるのが一こう。これが五つもあるのだから、限らないのと同じじゃよ。」

「ふええ、すごいもんだ。それから。」

「数えきれないものをまとめた言葉で海砂利水魚というものがあるぞ。」

「水行末、雲来末、風来末は、どこまで行っても果てしない宇宙のこと。」

「衣食住は大切だから、食う寝る所に住む所」

「やぶらこうじのやぶこうじは、正月の飾りに使う藪柑子だからめでたい。」

「他にも、少々長いが、パイポ、シューリンガン、グリーンダイ、ポンポコビー、ポンポコナーというのがある。」

「なんだか、不思議な名前ですね。」

「パイポは唐のアンキリア国の王様、グリーンダイはお妃、ポンポコビーとポンポコナーは二人の王子で、そろってご長命。」

それだけ聞けば十分で、その男は家に帰って、迷いに迷ったあげく、出てきた名前を全部つなげて、この長い名前がついたそうなの。

この子どもが、大きくなると、大変なわんぱくだから、始終近所の子どもを泣かす。泣かされた子どもは、親の所に言いつけに来る。

「ワーン、おばさんとこの寿限無寿限無五劫の擦り切れ海砂利水魚の水行末雲来末風来末食う寝る所に住む所、やぶら小路の藪柑子パイポパイポパイポのシューリンガンシューリンガンのグリーンダイグリーンダイのポンポコビーのポンポコナーのちようきゆうめいのちようすけがおいらの頭をぶった。」と、言ってるうちにコブがひっこんでいたとき。